

近畿大学

in名古屋

農学部公開講座

〈メインテーマ〉近大農学部のものづくり最前線

講演① 10:40～11:40



〈講師〉
近畿大学 農学部
水産学科
教授
澤田 好史

〈テーマ〉

マグロを取り巻く世界の情勢と マグロ完全養殖の技術開発

〈要旨〉

急速に需要が増しているマグロ類は、その天然資源の枯渇が危惧されています。これに対して、将来に亘って持続的なマグロ類利用を図るべく、天然資源に頼らない完全養殖でマグロを市場に供給しようとする近畿大学の取り組みについてご紹介します。

講演② 11:50～12:50



〈講師〉
近畿大学 農学部
農業生産科学科
教授
林 孝洋

〈テーマ〉

これからの農業のあるべき姿 ―「快適・きれい・健康」のユニバーサル農業を目指して―

〈要旨〉

わが国の食料自給率はカロリーベースで39%です。50年前は73%程度ありましたが、現在は食料の約6割を輸入に頼っています。一方、農業就業人口は現在192万人で、この5年で58万人も減っています。就業者の高齢化と後継者の不足は大きな社会問題です。安心・安全な食料を自給するために、これからの農業はどうあるべきでしょうか？本講演では、障害者、高齢者、若者が快適に取り組めるユニバーサル農業について、近畿大学の取り組みをご紹介します。

開催日時 10月8日(土)

10:30～13:30(受付開始10:00)

会場 名古屋マリオットアソシアホテル
16階 タワーズボールルーム

名古屋市中村区名駅1-1-4

プログラム

10:00～	受付・開場
10:30～10:40	開会・挨拶
10:40～11:40	講演①〔講師〕農学部 水産学科 教授 澤田 好史
11:40～11:50	休憩
11:50～12:50	講演②〔講師〕農学部 農業生産科学科 教授 林 孝洋
12:50～13:30	マグロ試食会
13:30	終了

受講無料！

事前申込不要/定員200人(先着順)

定員充足の場合、ご参加いただきかねますことをあらかじめご了承ください。

■講師のプロフィール・会場周辺案内図・お問い合わせ先は裏面をご覧ください。



近畿大学
KINDAI UNIVERSITY

近畿大学農学部公開講座

in名古屋

〈メインテーマ〉
近大農学部のモノづくり最前線

講演① 10:40～11:40



講師

近畿大学農学部
水産学科
教授 澤田 好史

プロフィール

昭和57年 京都大学農学部卒業
平成 3年 京都大学大学院博士後期課程修了(京都大学農学博士学位取得)
平成 3年～平成6年 京都大学農学部 研修員
平成 6年 近畿大学水産研究所 研究員
平成 7年 近畿大学水産研究所 助手
平成11年 近畿大学水産研究所 講師
平成14年 近畿大学水産研究所 助教授
平成20年 近畿大学水産研究所 教授
平成28年 近畿大学農学部・水産研究所 教授

現在の専門

水産増殖学、水産海洋学

受賞歴

第3回海洋立国推進功労者表彰(表彰者:内閣総理大臣、平成22年)
「海洋に関する顕著な功績」分野【クロマグロの完全養殖と量産化】近畿大学水産研究所
平成13年度水産ジャーナリストの会年度賞
(近畿大学水産研究所・クロマグロの完全養殖達成)
平成16年度農林水産大臣賞民間部門農林水産研究開発功績者表彰
(近畿大学水産研究所・クロマグロの完全養殖達成とその産業化)
第2回ベスト・プロデュース賞「クロマグロ完全養殖プロジェクト」
(近畿大学・近畿大学水産研究所 一般社団法人 日本生活文化推進協議会など主催) 平成26年

講演② 11:50～12:50



講師

近畿大学農学部
農業生産科学科
教授 林 孝洋

プロフィール

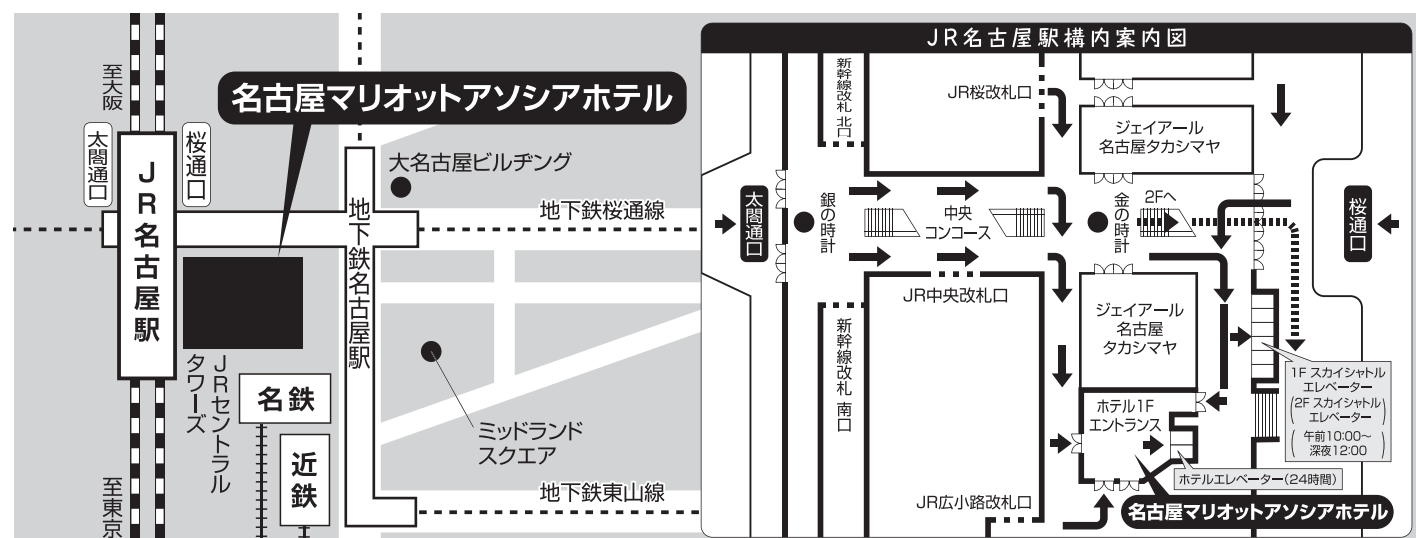
昭和57年 京都大学農学部卒業
昭和59年 京都大学大学院農学研究科修士課程修了
昭和59年 岡山大学農学部 助手
平成 5年 京都大学農学部 講師
平成10年 米国ミシガン州立大学 客員研究員
平成11年 京都大学大学院農学研究科 助教授
平成19年 京都大学大学院農学研究科 准教授
平成21年 近畿大学農学部 教授

現在の専門

蔬菜花卉園芸学、植物・人間関係学

ACCESS

◆JR「名古屋駅」から約1分、名鉄・近鉄「名古屋駅」から約2分



◆お問い合わせ先

近畿大学 農学部事務部

〒631-8505 奈良市中町3327-204 TEL. (0742) 43-1849
URL <http://www.nara.kindai.ac.jp>

農学は新たな未来を切り開く、無限の可能性を秘めた学問です。

近畿大学農学部では6つの学科から、現代社会が抱える食や環境、健康の諸問題にアプローチ。それぞれの分野で、日々最先端の研究に取り組んでいます。

学科
紹介

農業生産科学科

環境、バイオ、農業の最先端へ

「食糧生産」「生物といやし」「アグリビジネス」の3つの視点で地球環境と健康に配慮した農作物の生産方法から消費までを見据えた、農業生産システムについて研究します。

水産学科

水産資源の食と環境を考える

大切な水産資源の増養殖などの食糧生産から、水域生態系の評価・保護・改善・修復・共生などの環境保全研究まで、分野にとらわれない多角的な研究と学習に取り組んでいます。

応用生命化学科

いのちを知って、いのちを守る

食糧危機やエネルギー資源の確保などで今注目されている学問。
食品成分の機能分析や機能性食品の開発、微生物による環境浄化など、生活を豊かにする研究開発に取り組んでいます。

食品栄養学科

【管理栄養士養成課程】

健康を、食の観点から守る

人のからだを根本から作る・守る、食と健康に関する学問です。
附属病院での充実した実習で実践力を磨き、管理栄養士として教育、福祉、医療などの現場で活躍できる人材を育成します。

環境管理学科

国際視点で人と自然の共存を図る

環境汚染や生態系の破壊など、深刻化する地球環境の問題を解決する人材を育成。
フィールドワークと実験・実習を重視したプログラム、英語学習や海外留学などにも力を入れています。

バイオサイエンス学科

生命の「なぜ」を最先端技術で解明し、次世代の産業へ

最先端の生命科学研究と実践的研究を融合させ、医療、創薬、食糧、エネルギーなどの問題解決に向けた研究を展開。
独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人材を育成します。